

～保健連絡協議会だより～

JA助け合い組織『楠の会』活動について

助け合い組織楠の会 会長 柿原直子



「できることを できるところから」のスローガンのもと平成十一年九月二十九日JA武雄市助け合い組織楠の会を立ち上げ設立総会をむかえました。

総会を開会出来る様になるまで何回も話し合いが開かれ「なぜ助け合い活動に取り組みなくてはならないのか」熱心な意見交換が開かれました。

当事私達の住むJA武雄市管内の高齢化率は二十・三%六十五歳以上の人が五人に一人の状態でした。高齢者といっても元気な方が殆どですが、高齢者は、ますます増えていくことは目に見えています。

なんらかの援助が必要な方が増えて来られるこの高齢社会に対応するために、行政としても、これまで様々な公的福祉サービスが、行なわれ、さらに平成十二年度からは、介護保険制度が導入されるなか、「高齢者を取りまく現状が、どんどん厳しくなるであろう」と言う考えの基、公的福祉サービスは、要介護の程度が比較的に高い限られた高齢者が対象となるため、「公

的福祉サービスの対象から漏れた人の生活の支援をどうするか」、私たち助け合い組織がJAの基本理念である相互扶助の精神で援助を必要とする人に地域の人々が、お互いに助け合う、助け合い活動に取り組むことに致しました。

「行政だけでなく、社会福祉協議会をはじめ、地域のいろいろな団体機関が共に力を合わせて地域福祉を支えていくことが、必要になってくる」と思い、私たちJA武雄市の助け合い組織も、地域福祉の一翼を担える組織をめざしたいと云う考えの基、活動として、旧武雄市内各地区七支所で（ふれあいサロン）が開かれ、多くの高齢者の方々の交流が出来た事は、うれ



しい報告となりました。当初、協力会員五十六名 賛助会員十七名の協力でスタート。高齢者の方々に喜んでもらえる愛情たっぷりの料理が、用意され好評でした。今年で七年目をむかえ、組織としても、JA佐賀みどりの中の（楠の会）として活動をしていきます。（ふれあいサロン）と、（家事援助サービス）も行っています。ミニデイサービス（ふれあいサロン）は、

各地区の公民館を利用しての地域の高齢者を対象に健康講話やレクリエーションで楽しい一日を過ごしていただきます。昼食は会の協力会員が作る季節の料理を、みなさんで頂きます。主として取りくんで居る、ふれあいサロン各支

所ごとに、年五回の計画で実施開催していますが、まことに嬉しいと言葉もきいていきます。高齢化も年々進み、本年度は、（介護保険法案）を改正に伴う、介護予防事業（自立支援）の取り組みの中で、元気高齢者、生きがい作りの活動に楠の会はど

うあるべきかを会員全員で考える年とし、会員一人ひとりが、お互い助け合い、みんな

で話し合い活力ある組織づくりに励んでいこうと話し合っている所です。



この活動は介護を必要としない元気な高齢者の健康づくりと生きがいづくりを目的とします（家事援助サービス）一人暮らしの、高齢者の方や老人世帯の生活支援のために行なっている、サービスです。炊事、洗濯、掃除などの日常生活の支援から外出の付き添い、車いすへの移動の際の介助など、身体介助をします。介助は、助け合い組織の二級三級ヘルパーの資格取得者が致します。サービス料一時間五〇〇円です。助け合い組織（楠の会）では地域の高齢者の皆様が健康で明るい毎日を送るよう、お互いが助け合い安心して暮らせる地域づくりの活動を行なっています。